

二・二・二六事件裁判原本資料 全2巻

二・二・二六事件 判決書綴 二・二・二六事件 訴訟記録目録

緑蔭書房

二・二・二六事件裁判原本資料 全2巻

松本一郎編

今から七六年前の一月二六日早朝、「昭和維新」を旗印に青年将校が約一五〇〇名の兵士を率いて蹶起。斎藤実内大臣、高橋是清蔵相、渡辺錠太郎教育総監、鈴木貢太郎侍従長等十数名を死傷させ、首都の中核部（首相官邸・陸軍省・参謀本部・警視庁・議事堂等）を四日間占拠した。日本唯一のクーデター事件である。その後、日本は戦争への道を歩み始める…。このたび、この事件の全体会像を把握する上で不可欠な第一級一次史料である『判決書綴』『訴訟記録目録』の原本を公刊する。これにより、初めて「原本」による二・二六事件研究が可能となつた。今後の研究が進展することを期待したい。

東京陸軍軍法会議

二・二・二六事件裁判原本資料 全2巻

二・二・二六事件 判決書綴 二・二・二六事件 訴訟記録目録

東京陸軍軍法会議

体裁 一頁四面付・B5判・上製クロス装・ケース入り
定価 本体36000円+税（分売不可）
刊行 平成24年3月刊 ISBN978-4-89774-317-2 C3331

▼二・二・二六事件の概要

■昭和二年（一九三六年）一月二六日に起きた、いわゆる二・二六事件は、わが国で起つた唯一のクーデター事件であった。しかし、一五〇〇人の兵士を動員して高橋大蔵大臣などを殺害し、首相官邸、警視庁、陸軍省など日本の心臓部一帯を占拠して政治改革を迫ったこの事件は、わずか数日後に鎮圧された。
■参加者を待っていたのは、厳しい処罰であった。非公開・弁護人抜き・一審限りの東京陸軍軍法会議という軍事裁判によって、首謀者はもちろんのこと、指揮者の多くが死刑を宣告され、その一週間後には執行された。
■この事件は、昭和史におけるエポック・メイキングな出来事であった。陸軍の名の下に事件関係者を弾圧した陸軍上層部は、この事件を奇貨として露骨に政治に介入するようになり、いわゆる軍事ファッショ体制を確立するに至つたからである。この意味では、この事件は、日本の敗戦という近代史最大の出来事と因果の関係にあるといえよう。

▼関連図書

『陸軍軍法会議判例集 全4巻』 松本一郎編 本体90000円

▼近刊図書

『二・二・二六事件内務省関係資料（仮称）』 松本一郎編

▼本資料の内容と刊行の意義

■今回刊行する「判決書綴」・「訴訟記録目録」は、東京地方検察庁が保管する「原本」のPDF一版である。
■「訴訟記録目録」は、今回初めて公刊する資料である。
■「訴訟記録目録」は、二・二・二六事件訴訟記録原本（全八六巻及び別冊）の内、五三巻までの名記録目録を収録した。（五四巻以降は 不起訴処分者の記録）
■本資料は、頁数を抑えるために、一頁に四面付とした。
■「二・二・二六事件は昭和史のある流れを方向づけた事件であり、全容を知りたいと思う国民も少なくない。（略）記録はこの意味で昭和史の共有財産である。（略）一日も早く正式裁判記録全体が公開・公刊され」（伊藤隆・北博昭編『新訂二・二・二六事件 判決と証拠』）
■あるように、今回の刊行は久しく待望されていたものである。
■□巻末に「解説」を収録した。

緑蔭書房

〒173-0004 東京都板橋区板橋1-13-1
☎ 03(3579)5444
〔消費税が別途加算されます〕

取扱書店

